

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業実施計画

計画期間：平成27年度～平成31年度

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標
3. 事業計画

鳥取県

1. 事業実施の基本方針

現状と課題	本県は、農業者の平均年齢が68歳、中山間地域では70歳を越える状態となっており、高齢化・後継者不足によって、農業用水路の泥上げや小規模農道、農地畦畔の草刈など、集落での共同活動の維持が大きな負担となってきた。このため、農村のマンパワー不足による閉塞感の打開や多面的機能の維持・発揮していくことが重要な課題となっている。
事業実施の基本方針	本県では、10年後においても農業の活力を維持し、高めていく施策を推進するための羅針盤として「鳥取県農業活力増進プラン」を平成27年3月に策定したところである。このプランの基本方針のひとつとして位置付けられている「地域の農業を元気にし、農とともに生きる鳥取県を実現する」では、地域や集落が一体となり、安心して農業を営むことができる環境づくりを推進することとしている。このため、本事業においては、中山間地域の農村が有する農業用施設の維持・保全等について、社会貢献活動に意欲的なボランティアや企業、市街地地域などの多様な外部サポーターと連携して行う活動に対し必要な支援を行っていく。
計画後の目指す姿	中山間地域の特性や資源を活かした生産活動や魅力づくり、「地域」に着目した農業振興により、地域農業の活性化を図る。

2. 事業実施の成果目標

事業区分	主な成果目標	数値目標	内容
調査研究事業	農山村資源保全活動の推進	年間25地区程度の活動実施	中山間地域の高齢化、後継者不足により、負担となってきた農業用水路の泥上げや小規模農道、農地畦畔の草刈などの共同作業に対し、農山村ボランティア等によるマンパワーの支援が求められている。このため、ボランティアによる農山村資源の保全活動地区を平成31年度までに年間25地区程度にする。
研修事業			
推進事業	多様なサポーターによる農地維持活動の推進	協定締結地区数を7地区程度へ拡大	中山間地域の高齢化、後継者不足による課題に対し、農村と企業や市街地住民等が連携し、共同作業等を支援することにより、農業農村の活性化につながるモデル的な取り組みを推進していく。このため、平成31年度までに協定締結地区数を7地区程度に拡大する。

3. 事業計画

事業区分	事業名	事業内容	目標年度において達成すべき状況	現況値 H26	計画期間における必要事業量	参考年度別事業量				
						H27	H28	H29	H30	H31
調査研究事業	とっとり農山村資源保全活動推進事業	農山村ボランティア事務局をNPO法人等へ委託し、ボランティアの人員確保と新たな受入地区への拡大に向けた調整を行うと共に、活動内容のアドバイスや集落調査により、農村の実情や課題、求めている支援等について情報を整理し、今後の施策へ活用する。	ボランティアによる農山村資源の保全活動の定着とその他の地域への波及	20地区	25地区	21地区	22地区	23地区	24地区	25地区
研修事業										
推進事業	・共生の里推進加速化事業 ・むら・まち支え合い共生促進事業	農村集落と企業や市街地住民が連携し、農業、農業用水路の保全活動や農産物の生産、加工品づくり等を通じて農業・農村の活性化につながるモデル的な取り組みを県内各市町村1地区程度実施し、好事例の県内波及に向け啓発活動を行う。	外部サポーターによる農山村資源の保全活動の定着とその他の地域への波及	2地区	7地区	3地区	4地区	5地区	6地区	7地区
	とっとり井手・ため池保全活動支援事業	井手・ため池などを活用し、施設の保全や地域活性化につながる新たな活動を支援。	住民参加による農山村資源の保全活動の定着とその他の地域への波及	1地区	1地区(年1地区)	1地区	1地区	1地区	1地区	1地区
	県委員会の開催	事業の効果的な推進を図るため、実績や計画について、学識経験者から指導及び助言を得るための委員会を開催する。	基金事業の計画性・有効性の確保	1回	1回(年1回開催)	1回	1回	1回	1回	1回
参考事業費				9,184千円	54,480千円	10,540千円	10,940千円	11,000千円	11,000千円	11,000千円